

第8回公正入札調査会議 議事概要

[日 時] 平成25年10月8日(火) 10:30-12:00

[場 所] 中央合同庁舎第3号館 4階幹部会議室

[出席委員] 和泉澤座長、金本委員、郷原委員、長瀧委員、奈良委員、堀田委員、
升田委員、(大橋委員及び宮本委員はご欠席)

[委員の主な意見]

- 談合対策については、色々な取組みを行ってきた結果、システム整備が進み、コンプライアンスの意識が高まっているが、最後は人に委ねざるを得ないところがある。事務所長の責任とリーダーシップ、相談できる風通しの良さが重要。
- 談合防止のため、単に業者と付き合うな、排除しろと言われても、現場は混乱する。皆が納得できるルールを作り、そのルールに従うことが重要。
- 工事の応札状況を日頃から適切に把握しておくことは重要。職員間で共有できるような体制を整えるべき。
- 四国地方整備局において実施しているコンプライアンスの取組みを、全国で実施すべき。
- 入札データの分析は、発注者にとって良い調達を行うにはどうすべきかという視点に立って行うべきもの。
- 現場の声を反映させた品質改善や業務改善を行っていくことが大切。地方整備局任せではなく、本省も一緒に頑張るという姿勢が重要。

以 上